

夏休みの生活2020

小木小学校4年生

「親子の約束」を決めよう。

家の手伝いや勉強、遊びに関すること。

何をやりますか。継続してできること書きましょう。

I. 8月の学校予定について

今年は、全校登校日・学年登校日はありません。

8月4日(火)・18日(火) 図書の貸し出しを行います。8:30~10:00

8月7日(金) 通知表渡し

8月11日(火)~14(金) 学校閉庁日

8月24日(月) **2学期始業式・課題提出日**

8月25日(火)~28日(金) 夏休み作品展

II. 学習について

- 1. 夏休みの完成(夏休みのドリル)
- 2. 基礎学力調査の過去問(国語・算数)
自学ノートのかわりに行います。
- 3. 読書感想文3枚(6ページ)作文ノートに書くこと。(1200字程度)
- 4. 市村アイデア賞(参加賞がおもしろい。)
- 5. 日記5日分(日記ノートに書くこと。題名は必ず入れること。)
 - ・一日は、お手伝いをした日を書くこと。
 - ・一日は、読んだ本について書くこと。
 - ・あとの三日は、テーマは自由です。
- 6. 新聞記事の意見を3日分(自学ノート)
- 7. 漢字ノート
4年漢字ドリルの7、11、17、21、27、33、43、49、55、59をやること。

ノートを半分に分けて、20個練習する。

丁寧に書いてないと担任に判断された場合書き直すこと。

二学期にテストをやります。

- 8. 自由研究（科学作品的なもの）、工作、手芸から1点以上
理科の実験道具・デジカメなど必要なものがあれば言ってください。
相談に応じます。
- 9. 応募作品の中から1点以上（市村アイディアは除く。別紙参照）
- 10. 漢字ドリル、計算ドリル
これが済んでいない人は、毎日学校に持ってくること。
- 11. 読書5冊以上（80ページ以上の本、読書感想文に使う本も選ぶ。）
“nomiso no koyashi ni narumono o yomukoto.”

終わったものには、〇に色をつけましょう。

Ⅲ. 2学期始業日

8月24日(月) 始業式

給食あり 4限まで

13:30下校

国・算の教科書・ノート準備

持ってくるもの （2学期前でも仕上がっていたら持ってきてください。）

- 1. 夏休みの完成（夏休みのドリル）
- 2. 基礎学力調査の過去問（国語・算数）
- 3. 読書感想文3枚（1200字程度）
- 4. 市村アイディア賞
- 5. 日記5日分
- 6. 新聞記事の意見3日分（自学ノート）
- 7. 漢字ノート
- 8. 自由研究（科学作品的なもの）、工作、手芸から1点以上
- 9. 応募作品1点以上
- 10. 星座早見盤、方位磁針
- 11. 図書室から借りた本
- 12. ラジオ体操出席カード
- 13. **ぞうきん2枚（1枚記名、1枚無記名）**
- 14. 夏バテしてない元気な身体と夏休み中のみやげ話。

（↑masshirona haga niau genkina kao. korega ichiban daiji.）

お知らせ

1学期の学習で、わからないところがあった人は遠慮しないで、学校にきて勉強しましょう。

1学期の学習内容が理解できていないと、2学期に大変なことになると思います。じっくりと勉強のお手伝いをします。

(ただし、お茶などは持参するように!)

万が一、事故やけががあった場合は、必ず、学校または担任に連絡してください。

《連絡先》 小木小学校 74-0040

自由研究について

研究は、一人ではなく、兄弟や友だちと共同でやってもかまいません。

研究の例

- ・インターネットで、自由研究と検索をかけると面白そうなものが出てきます。
- ・毎日、小木港で釣りをして、釣れた魚の大きさや種類を記録していく。
その時、天候や気づいた事も付け加える。(ただし、大人と一緒にする。)
- ・メダカや、おたまじゃくしをたまごから、育てて観察してみる。
- ・はつか大根が、本当に20日で育つか調べてみる。
- ・能登町や小木の歴史について調べる。
- ・一人ぐらしのおじいさん、おばあさんを何人も訪ねて、お話を聞いて、インタビューの記録をとる。写真つきだとわかりやすい。(ただし、個人情報の関係で許可は必要) などなど、何でもないことでも、継続してデータをしっかり取り、考察を加えればスゴイ物に仕上がりますよ。
- ・他には
 - ①世界の人全員を押し込めると、□になる。
⇒世界の人全員を押し込めると琵琶湖の広さになる。
 - ②ペットボトルロケットで人を飛ばすには、2L用が□本必要である。⇒
 - ③新品の鉛筆で引くことができる線の長さは□kmである。⇒

調べる方法がわからないという人へ。

- ・調べる方法がわからなければ、学校に来れば一緒に考えることもできます。
- ・学校に借りたい道具があれば言ってください。相談にのります。

新聞記事の意見文の書き方

自学ノートの後ろのページからはじめます。（名前を書いてない方）

1. 自学ノートを見開きで使います。
2. ノートの左側に新聞記事を貼ります。
3. 新聞記事の気になる所に、赤いラインを引きます。
引きすぎると、どこが大事がわからなくなるので、2・3箇所程度にしましょう。
4. 右側のページに、まずは事実を書きその後に、自分の感想や意見を書いていきます。
5. 以上のことを3日分行います。

右のページに書く内容

〇〇新聞 朝刊・夕刊 面 令和 年 月 日 ()

リード文（記事の紹介文）

5W1H を基本にして、リード文をつくること。

すべての要素を入れる必要はないが、少なくとも

「いつ、どこで、誰が、何を」の4要素は入れること。5行程度に、事実をまとめて下さい。

いつ (When)、どこで (Where)、だれが (Who)

なにを (What)、なぜ (Why)、どのように (How)

意見・感想

記事についてのあなたの意見・感想を書いて下さい。リード文よりも詳しくするために、文書量は長くすること。

意見と感想の違い

感想・・・心の中に浮かんでくるもの。感じたこと思ったこと。

意見・・・自分の立場（賛成・反対など）を決めて、根拠を挙げて説明すること。